

1969(昭和44)年11月創刊

2024(令和6)年 2月20日(火) 14307号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
ヴィレッジリバー南森町3階E号
TEL: 06-6353-7831
FAX: 06-6353-7832
MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
WEB: https://homenikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は4万円引き上げの131万円

2月の月内建値平均は129万1,500円

JX金属は19日、電気銅建値を4万円引き上げの131万円にすると発表、同日より実施した。2月の月内建値平均は129万1,500円。

17日に入電した直近のLME銅相場前場売値が8,322.00ドル。19日の東京市場の米ドルTTSレートは151.03円。この値で換算した採算価格は、125万6,800円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万3,200円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2023年

9月	1280(1)	1300(6)	1280(8)	1290(14)	1270(20)	1260(26)	平均1277.8
10月	1280(2)	1240(4)	1220(6)	1230(12)	1240(19)	1250(25)	平均1241.5
11月	1270(1)	1280(7)	1270(10)	1290(16)	1300(27)		平均1283.1
12月	1300(1)	1270(6)	1250(8)	1230(14)	1250(18)	1280(20)	平均1267.3

2024年

1月	1250(4)	1240(10)	1260(16)	1270(19)	1280(24)	1300(29)	平均1265.2
2月	1300(1)	1280(6)	1260(9)	1270(15)	1310(19)		平均1291.5



黄銅削粉買値は26円引き上げの909円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は19日、黄銅削粉買値を26円引き上げの909円と発表。今月5回目の改定。2月の月内買値平均は899.6円。



2月後半の減摩合金価格を発表 フジメタル工業

フジメタル工業株式会社は2月後半減摩合金算定価格を改定、16日より適用。新算定価格は次の通り(ホワイトメタルS規格品、500キロ以上の大口、キロ当たり円、カッコ内は前回比)。

【ホワイトメタル】

◇1種	4,925円(◎145)	◇2種	4,790円(◎135)
◇2種B	4,715円(◎135)	◇3種	4,650円(◎135)
◇4種	4,135円(◎120)	◇5種	3,860円(◎95)
◇6種	2,995円(◎85)	◇7種	1,535円(◎45)
◇8種	1,365円(◎40)	◇9種	1,185円(◎30)
◇10種	1,070円(◎30)		

【棒半田】

◇錫60%	3,390円(◎95)	◇錫50%	2,945円(◎85)
◇錫40%	2,495円(◎70)	◇錫30%	2,045円(◎55)

【原料】

◇錫	4,620円(◎140)	◇アンチモン	2,160円(◎100)
◇銅	1,283円(◎10)	◇鉛	384円(◎14)
◇亜鉛	420円(▲13)	◇砒素	2,550円(-)

KYOWA
関東・関西に2箇所ある生産拠点の強み
電線のことなら協和電線工業にお任せください

協和電線工業株式会社
KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

本社・本社工場 〒581-0026 大阪府八尾市曙町1丁目7番地
TEL (072)991-0818(代) FAX (072)991-4470
千葉工場 〒289-0114 千葉県成田市成井925番地

非鉄金属全般・金属リサイクル
新棒コロ・砲金・銅滓

株式会社 高田商店

代表取締役 高田 晋 善

〒544-0001 大阪市生野区新今里 7-10-26
Tel.06-6753-1643 Fax.06-6753-4545

アンケート調査まとまる 経費割合 0.42Pt 増加

関西電線販売組合

関西電線販売業協同組合(西村元秀理事長、大阪市西区)はこのほど、令和5年度販売経費アンケート調査の結果を公表した。売上高に占める経費の割合は前年(令和4年調査)に比べ0.42ポイント増加、エネルギー価格・物価上昇により経費率がアップしたとみている。1人当たりの売上高は前年に比べ約6.5ポイント低下していた。

アンケート調査は組合員15社に依頼し、うち11社が回答した(回答率 73.3%)。

集計の結果、売上高に占める経費の割合は7.46%で、12社が回答した前年の7.04%から0.42ポイント増加していた。過去5年の平均値は7.86%となっている。

経費率7.46%の内訳は、人件費が3.91%で前年比

は-0.1%(過去5年平均値4.65%)。銅ベースの上昇による売上の伸長やコロナ禍での在宅勤務等による残業の減少が大きく影響したとみている。配送費は1.18%で同0.06%増(同1.16%)、その他は2.37%、同0.46%増(同2.05%)だった。

1人当たりの売上高は13,880 千円で前年の14,842千円から約6.5ポイント低下。前年は産業機械部門の伸びが大きく反動的に前期比が低下。その他の部門は伸びた。

また、1人当たりの経費額は1,079千円で前年の1,045千円に比べ34千円減少。直近4年間は小幅に変動している。

自家配送割合は32.69%で、前年の46.83%に比べ14.14ポイント減。売上高に占める電線類の比率は82.06%で、前年の81.69%からほぼ横ばい。在庫率は0.53か月(15.8日)で前年の0.52か月(15.6日)とほぼ変化はなかった。

取扱い安全講演会 3月6日に開催

マグネシウム協会

一般社団法人日本マグネシウム協会(井上正士会長)は3月6日、第56回マグネシウム取扱い安全講習会を東京都中央区京橋2の京橋区民館で開催。定員は30人。

マグネシウムは、輸送や電子機器分野などの軽量化に貢献している軽量金属材料だが、溶解時や微粉状態となる加工時などの取扱いに十分な注意や対策が必要。取扱者等が安全に操業を続けていくため講習会を開いている。参加費は会員22,000円、一般33,000円。申し込みは同協会HPへ。プログラムは次の通り。

- ①マグネシウムの一般特性と安全：伊藤茂氏(伊藤技術士事務所)
- ②溶解・鑄造作業における安全対策：杉浦泰夫氏(日本マグネシウム協会・顧問)
- ③マグネシウムダイカストの安全への取り組み：武藤敏之氏(株式会社東海理化)
- ④マグネシウムの切削加工：嵯峨常生氏(都立工業高専・名誉教授)
- ⑤マグネシウム用切削油剤：小矢俊亮氏(出光興産株式会社)
- ⑥マグネシウム粉じん爆発の原因と対策：米田佐氏(米田技術士事務所)
- ⑦熱処理作業及び廃棄物処理の安全対策・燃焼と消火及び消防法：佐藤英一郎氏(千葉工大・名誉教授)

世界を結ぶ循環流通サービス 原料から製品まで



銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

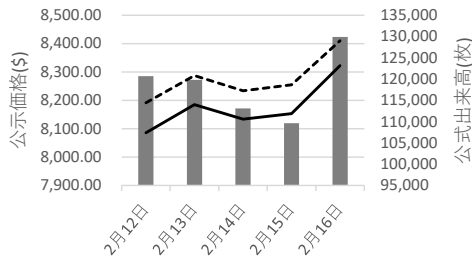
名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

LME公式値週間推移 2月12日~2月16日(現地)

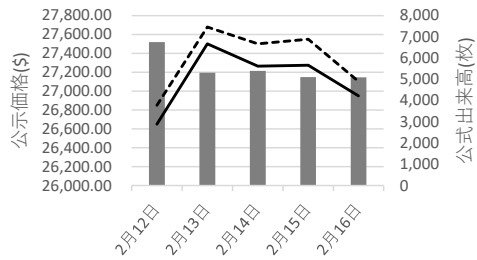
LME銅AG



	2月12日	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日
出来高	120,693	119,809	113,077	109,631	129,891
直物	8,085.50	8,185.00	8,133.50	8,153.00	8,322.00
先物	8,191.00	8,287.50	8,234.00	8,255.00	8,410.00

■ 出来高 — 直物 - - - - 先物

LME錫HG



	2月12日	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日
出来高	6,753	5,315	5,398	5,101	5,091
直物	26,650.00	27,500.00	27,265.00	27,275.00	26,950.00
先物	26,850.00	27,680.00	27,500.00	27,550.00	27,105.00

■ 出来高 — 直物 - - - - 先物

※2月16日の出来高は速報値です。



エネルギー・金属鉱物資源機構 (116)
2023年
金属鉱物資源をめぐる動向(下)
～JOGMEC カレント・トピックス～

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(高原一郎理事長)がこのほど、カレント・トピックス「2023年 金属鉱物資源をめぐる動向」を公表した。地球温暖化など喫緊の課題が迫っているだけに重要鉱物の国家政策など話題は多く、サプライチェーンなどを見通す重要なデータとなっている。新年に発表された、金属企画部調査課の報告の要約を3回に分けて紹介する。

◆西側諸国で軽希土類・重希土類分離案件が活性化

2023年は米国での新規軽希土類分離精製が開始されるなど、レアアース業界において新たな幕開けを迎えた1年だった。米MP Materials社は、9月末に希土抽出分離プラントのテスト生産を終え、CA州Mountain Pass鉱山山元でのNdPr(Di)酸化物の商業生産を開始、これまで中国企業へ販売してきた精鉱の一部を自社で処理するルートを確認した。これにより第3四半期に生産されたNdPr酸化物製品50tは、金属化のため東南アジアに向けて初出荷された。また同社は、次の段階として、米国防総省と35mUS\$の契約を結んだ中重希土類の抽出分離工程の確立に向けて注力していく見込みである。豪Lynas Rare Earths社は、8月に子会社Lynas USA社が米TX州希土抽出施設の重希土類向け設備の建設に関し、米国防総省と契約を更新したことを発表。2022年時点では国防総省が約120mUS\$を拠出することが発表されていたが、詳しい設計作業とコストのアップデートを受け契約が更新され、補助金は約258mUS\$に増額された。本施設からは米国防総省と民間顧客の両方に供給を行う予定で、2025年7月～26年6月の操業開始を目指している。このほか西側諸国で一次原料、二次原料からの軽希土類・重希土類分離精製プロジェクトが多く発表され、2024年以降の進展が待たれている。

◆チリ、次世代リチウム開発の指針となる「国家リチウム戦略」を公表

4月、チリBoric大統領は「国家リチウム戦略」を発表した。リチウムは鉱業法で鉱区の設定ができない鉱種とされ、開発する場合は国と特別操業契約(CEOL)を結ぶ必要がある。この戦略で、民間企業が新たなリチウム開発に参入するには、CODELCO(チリ銅公社)もしくはENAMI(チリ鉱業公社)と共同調査することや、2024年以降に国が開発対象とした塩湖に対し探査に関するCEOL入札を行う予定でその権利を落札すること、あるいは国营リチウム企業設立には国会の承認に時間を要するため前身の組織となるリチウム技術研究所と共同調査することが謳われた。1年中降雨が無く、水資源が貴重なチリ北部の乾燥地帯において、現在採用されている塩湖かん水の天日乾燥ではなく、直接抽出技術(DLE)ほか環境に配慮した次世代の新技术によるリチウム生産を想定し、

政府は技術力ならびに高付加価値化の観点で民間企業の支援や参入を求めている。この大指針から、開発や将来の生産に具体的にどう結び付けていくのか、2024年もチリ政府側、企業側による動向が期待される。

◆産油国サウジアラビア王国の脱石油化 (省 略)

◆銅鉱石生産国の動向：DRコンゴ、伸び悩むチリとペルーを猛追

銅鉱石生産量で首位を独走してきたチリに、鉱石品位低下や干ばつなどの影響で陰りが生じている。チリ銅委員会が発表した2022年生産量は5,330.5千tと前年比5.2%減となり、この10年間で最低の水準。CODELCOの同生産量は1,552.7千tと同比10.1%減となり、四半世紀ぶりの低水準に落ち込んだ。CODELCOは経営上の問題と多額の負債に苦しんでいる。Chuquibambilla、El Teniente銅鉱山の拡張はコスト高などで難航しているほか、5月に決定したロイヤルティ引き上げへの警戒から新規プロジェクトへの投資にも圧力がかかり、同社は2023通年の生産量見通しを引き下げている。チリ全体でも1～9月累計生産量は前年同期比1.9%減の3,827.3千tとなっている。

チリに追従する生産国、第2位の座を守ってきたペルーは、その地位がDRコンゴに脅かされている。国際銅研究会によると、2022年の生産量はペルーが2,445.3千tで前年比5.0%増。DRコンゴが2,294.6千tで同比22.9%増と、ペルーに匹敵する規模となった。ペルーでは、2022年9月にQuellaveco銅鉱山の生産が開始されるなど堅調に増産しているものの、2023年の新規開山は無く、チリと同様に新規プロジェクト不足に直面している。DRコンゴでは、加Ivanhoe社がKamoa-Kakula銅鉱山を拡張しているほか、中CMOCグループがTenke Fungurume銅鉱山を拡張、2023年にKisanfu銅鉱山操業開始など、増産の動きが加速している。銅供給国として企業投資も高まっており、20年代後半にはペルーの生産を上回り、チリとの差も縮まることが予想されている。

◆JOGMECで重要鉱物の助成支援制度を開始 (ホームページに掲載)

おわりに

今後もサプライチェーンのリサーチの重要性が増してくると再認識された。欧州をはじめ多くの国々で、重要鉱物の安全保障のためにサプライチェーンのモニタリングや中長期の需給予測を議論する場面が増えてきた。鉱物のマーケットなど、他のエネルギー資源とは大きな違いがあり、種々の政策を考える上で、複雑なサプライチェーンを捉えることの難しさが顕在化している。我々も、サプライチェーンの動向に影響を与える各種情報のリサーチを強化していく必要があるが、サプライチェーン全体をより俯瞰的に見ていくことも併せて必要になってくると考えている。

(おわり)

故銅市況

前週末17日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,153.00ドルより169.00ドル高の8,322.00ドル。直物の終値は、8,223.00ドルより186.16ドル高の8,409.16ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,255.00ドルより155.00ドル高の8,410.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,314.00ドルより175.00ドル高の8,489.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の3月限は、前営業日の375.80セントより8.05セント高の383.85セント。SHFE(上海期貨交易所)は、春節の休暇で休場。

週明け19日の東京為替市場TTSレートは、前週末の151.26円より0.23円の円高ドル安、1ドル=151.03円。17日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,322.00ドル。この値と19日の東京外国為替市場USドル

TTSレートから計算した国内採算値は、前週末の127万1,000円より2万3,000円高の129万4,000円。この日、電気銅建値は131万円に引き上げられた。

為替動向

16日、ロンドン外国為替市場のユーロ対ドル相場は小幅ながら上昇。16時、前日と比べ0.0010ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0760ドル~1.0770ドルで推移した。この日、ECBのシュナーベル専務理事が金融政策の調整には慎重になるべきとの見解を提示、早期の利下げ転換に対する慎重姿勢が改めて示されたことがユーロ買いを誘った。英ポンドは対ドルで横ばい。16時、前日と同水準の1ポンド=1.2580ドル~1.2590ドルで推移。

16日のニューヨーク外国為替市場で円相場は3営業日ぶりに反落した。前日と比べ0.35円の円安ドル高、1ドル=150.20円~150.30円で取引を終えた。朝方に発表された米国の1月PPIが前月比上昇率で市場予想の0.1%を上回る0.3%になりインフレの根強さ示された。このことでFRBによる早期利下げ観測が更に後退したとの観測が拡がり長期金利は上昇、日米の金利差拡大が意識され円売りドル買いが優勢になった。

19日早朝の東京外国為替市場で円相場は上昇した。8時30分、前週末17時と比べ0.13円の円高ドル安、1ドル=150.10円~150.12円で推移した。前週に急ピッチで下落した反動で持ち高調整の円買いドル売りが優勢となった。ただ、円の値は限られていた。前週発表された米国1月PPIやCPIがインフレの根強さを示す内容となったことでFRBの利下げが更に遠退くとの見方が拡がっており円相場の重荷となっていた。円は対ユーロでは下落。8時30分、前週末17時と比べ0.18円の円安ユーロ高、1ユーロ=161.83円~161.85円で推移した。ECB高官が早期利下げに慎重な姿勢を示しておりユーロが買われた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(2月19日更新)

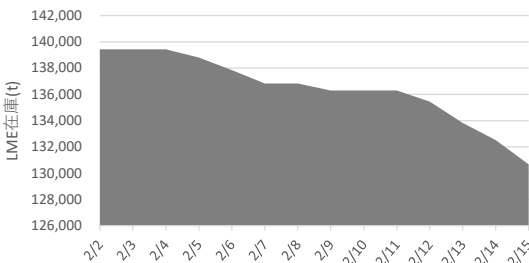
直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1134~1139、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1099~1104、並銅は1064~1074、込銅（高品位=約97%）は1054、セバは733~738。コーベルは要り用筋で674、それ以外は659ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋684、それ以外654~664どころの値頃。並青銅鋳物削粉は931~936どころ。

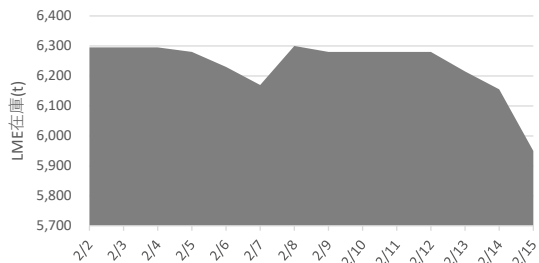
小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が1114~1134、上銅新くずが1079~1099、普通上銅が1054~1074、2号銅線が1046~1066、並銅が1044~1064、込銅（94-97%）が992、込銅（90-93%）が994、下銅が554~604、セバが698~733、コーベルが614~659、黄銅棒地が609~654、黄銅削粉が604~649、黄銅ラジが569~577、交叉ラジが619~676、黄銅銅鋳物が591~598、送りが352~371、上青銅鋳物が928~948、並青銅鋳物が908~923、上青銅鋳物削粉が923~943、並青銅鋳物削粉が898~918どころ。

LME認定倉庫在庫量推移 2月2日~2月15日(現地)

銅



錫



銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶

www.kimura-metal.co.jp

QRコード

木村金属株式会社
06-6552-7840

大阪市大正区



LME銅相場は大幅に続伸 直物終値は8,409.16ドル

COMEX銅相場も続伸 SHFE銅相場は休場

LME非鉄相場はまちまち 直物終値は亜鉛2,357.30ドル、アルミ2,198.62ドル



17日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、2月16日入電の8,153.00ドルより169.00ドル高の8,322.00ドル。2営業日の続伸で2.32%高。この週2.85%の上伸。2月に入って2.24%の下落。3か月物の前場売値は、2月16日入電の8,255.00ドルより155.00ドル高の8,410.00ドル。2営業日の続伸で2.14%高。この週2.57%の上伸。2月に入って2.49%の下落。LME公認倉庫の現地2月15日銅在庫は、前日の13万2,525トンより1,850トン減13万0,675トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、2月限が、2月16日入電の375.65セントより8.15セント高の383.80セント。2営業日の続伸で3.72%高。この週4.12%の上伸。2月に入って1.65%の下落。中心限月に当たる3月限は、2月16日入電の375.80セントより8.05セント高の383.85セント。2営業日の続伸で3.74%高。この週4.26%の上伸。2月に入って1.73%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）は、春節の休暇で休場。

錫は反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、2月16日入電の2万7,275.00ドルより325.00ドル安の2万6,950.00ドル。反落して1.19%安。この週3.73%の上伸。2月に入って3.65%の上伸。3か月物の前場売値は、2月16日入電の2万7,550.00ドルより445.00ドル安の2万7,105.00ドル。反落して1.62%安。この週3.26%の上伸。2月に入って3.45%の上伸。LME公認倉庫の現地2月15日錫在庫は、前日の6,155トンより205トン減の5,950トン。

鉛は続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、2月16日入電の2,057.00ドルより5.00ドル高の2,062.00ドル。3営業日の続伸で2.23%高。この週0.59%の上伸。2月に入って5.11%の下落。3か月物の前場売値は、2月16日入電の2,046.00ドルより9.00ドル高の2,055.00ドル。2営業日の続伸で2.19%高。この週0.46%の上伸。2月に入って5.28%の下落。LME公認倉庫の現地2月15日鉛在庫は、前日の17万3,075トンより4,500トン増17万7,575トン。

亜鉛も続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、2月16日入電の2,321.50ドルより20.50ドル高の2,342.00ドル。2営業日の続伸で2.47%高。この週0.86%の上伸。2月に入って8.21%の下落。3か月物の前場売値は、2月16日入電の

2,348.00ドルより22.00ドル高の2,370.00ドル。2営業日の続伸で2.55%高。この週1.63%の上伸。2月に入って7.28%の下落。LME公認倉庫の現地2月15日亜鉛在庫は、前日の25万9,825トンより5,000トン増の26万4,825トン。

アルミはまちまち アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、2月16日入電の2,205.00ドルより2.00ドル安の2,203.00ドル。反落して0.09%安。この週1.03%の上伸。2月に入って1.30%の下落。3か月物の前場売値は、2月16日入電の2,226.00ドルより6.00ドル高の2,232.00ドル。2営業日の続伸で0.40%高。この週0.86%の上伸。2月に入って1.70%の下落。LME公認倉庫の現地2月15日アルミ在庫は、前日の53万8,075トンより万3,150トン減の53万4,925トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、2月16日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。2月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、2月16日入電より横ばいの1,820.00ドル。この週横ばい。2月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、2月16日入電より横ばいの2,305.00ドル。この週横ばい。2月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、2月16日入電より横ばいの2,305.00ドル。この週横ばい。2月に入って横ばい。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、2月16日入電の1万6,240.00ドルより150.00ドル安の1万6,090.00ドル。5営業日ぶりの反落で0.92%安。この週2.32%の上伸。2月に入って0.12%の上伸。3か月物の前場売値は、2月16日入電の1万6,525.00ドルより75.00ドル安の1万6,450.00ドル。5営業日ぶりの反落で0.45%安。この週2.81%の上伸。2月に入って0.89%の上伸。LME公認倉庫の現地2月15日ニッケル在庫は、前日の7万1,544トンよりトン減の7万1,544トン。

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30

TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

LME公示価格(US\$)／2月16日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,322.00	26,950.00	2,062.00	2,342.00	2,203.00	1,820.00	2,305.00	16,090.00
	前営業日比	169.00	▲ 325.00	5.00	20.50	▲ 2.00	0.00	0.00	▲ 150.00
	週間増減比	2.85%	3.73%	0.59%	0.86%	1.03%	0.00%	0.00%	2.32%
先物	公示価格	8,410.00	27,105.00	2,055.00	2,370.00	2,232.00	1,820.00	2,305.00	16,450.00
	前営業日比	155.00	▲ 445.00	9.00	22.00	6.00	0.00	0.00	▲ 75.00
	週間増減比	2.57%	3.26%	0.46%	1.63%	0.86%	0.00%	0.00%	2.81%

海外非鉄金属相場

(2月17日 入電・現地 2月16日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
鏡5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, N Y コメックス相場) and rows for current price, previous day price, and high/low prices.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for LME (ロンドン) and COMEX (ニューヨーク) prices for various metals like copper, aluminum, and nickel.

フリー・マーケット

Table for US producer prices (米国生産者価格) for silver and gold.

Table for NY market (NY相場) for copper and nickel prices.

Table for London market (ロンドン相場) listing prices for various metals like gold, platinum, and palladium.

Table for K L T M tin (MYR/KG, 出来高トン) showing prices for 16th and 19th days.

Table for LME inventory (LME在庫) showing stock levels for copper, tin, lead, zinc, and aluminum.

Table for Shanghai inventory (上海在庫) showing stock levels for copper, aluminum, zinc, and nickel.

Table for LME pre-market (LMEプレマーケット) showing prices for copper, tin, lead, zinc, and aluminum.

Table for Shanghai market (上海相場) showing prices for copper, aluminum, zinc, and nickel.

*19日のKLTMは入電なし。LME後場は公示停止。16日の上海市場は休場。

非鉄金属製品相場

(2月19日調べ)

(キロ当たり)◎上げ ◆下げ


伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	◎ 1660	◎ 1665	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F	
建築用0.3ミリ	◎ 1710	◎ 1725	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750	2C×1.6	59~61
銅大板2×1×2	◎ 1790	◎ 1875	給水管13ミリ	280	280	2C×2.0	104~107
銅管(ベース)	◎ 1830	◎ 1865	鉛板1.5ミリ	590	590	3C×1.6	109~112
水道用管(m当たり)13ミリ	◎ 1740	◎ 1775	鉛線3ミリ	440	440	3C×2.0	157~160
銅棒25ミリ	◎ 1570	◎ 1645	軽圧品	大阪	東京	I V	
銅条1.5×100	◎ 1625	◎ 1690	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm	33.8~36
銅線0.9ミリ	◎ 1650	◎ 1705	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq	92.7~98.6
銅帯6×50	◎ 1530	◎ 1645	〃 大板1ミリ	775	795	14sq	231~245
銅平角線	◎ 1850	◎ 1865	〃 5052板	835	845	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	◎ 1350	◎ 1350	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38	1765~1876
〃 0.3ミリ	◎ 1380	◎ 1380	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60	2722~2893
黄銅大板2×1×2	◎ 1500	◎ 1540	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100	4570~4858
黄銅管	◎ 1995	◎ 1840	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38	2867~3037
復水器用黄銅管	◎ 1965	◎ 1810	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60	4022~4260
黄銅棒快削25ミリ	◎ 1100	1120	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西~関東)	
六角棒	◎ 1130	1150	貴金属(一般小口向け)			3C×2	135~138
四角棒	◎ 1160	1180	白金(グラム)		◎ 4921	4C×2	181~185
鍛造用	◎ 1140	1160	パラジウム(グラム)		◎ 5302	6C×2	258~264
ネーバル	◎ 1240	1260	金(グラム)		◎ 10753	7C×2	296~303
高力	◎ 1240	1260	銀(キログラム)		◎ 127710	合金鉄 12月輸入単価(CIF)	
黄銅線6ミリ	◎ 1535	◎ 1540	レアメタル輸入価格 12月通関(CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有	144
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1735	◎ 1750	金属ケイ素(99.99%未満)		364	〃 その他	210.8
黄銅条1.5×100	◎ 1345	◎ 1375	モリブデン酸化物		4839	フェロシリコン55%以上	240
リン青銅板一般用1.0ミリ	2920	3110	タンタル		86295	フェロクロム4%以上炭素含有	979
〃 バネ用0.3ミリ	3170	3370	マグネシウム		457	フェロモリブデン純分60%以上	5161
リン青銅棒25ミリ	3030	3240	コバルト		5047	フェロバナジウム	2818
リン青銅線3ミリ	3400	3610	インジウム		30468	フェロニッケル33%未満	539.3
洋白板一般用1.0ミリ	3620	3770				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	3750	3920					
減摩合金 2月16日改定			銅合金地金 2月1日発表				
(500kg以上、大口価格)			(標準価格) 大阪				
1種	◎ 4925		BC 1種	1285			
2種	◎ 4790		2種	1590			
3種	◎ 4650		3種	1665			
4種	◎ 4135		6種	1400			
5種	◎ 3860		7種	1495			
7種	◎ 1535		YBSC 3種	1135			
8種	◎ 1365		LBC 3種	1590			
9種	◎ 1185		PBC 2種	1690			


<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1310(19) 金 9,756(19)
 () 実施日 電気鉛 378(16) 銀 114,650(19)
 電気亜鉛 409(16) 錫(99.99%) 5,400(1)
 キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (2月19日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 40,000 ~ 46,000(1)

非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	
1トン以上外税持込				高値	安値	高値	安値
1号銅線	◎1158	◎1150	電気銅	◎1261	◎1256	◎1263	◎1258
2号銅線	◎1116	—	電気亜鉛	381	375	381	375
上銅(新切)	◎1129	◎1120	蒸留亜鉛	369	363	369	363
雑ナゲット	◎994	◎993	再生ダイカスト亜鉛2種	306	300	306	300
並銅	◎1071	◎1056	再生亜鉛(98%)	266	260	266	260
下銅	◎1052	◎1029	電気鉛	353	350	353	350
銅削粉	◎1032	◎1029	再生鉛1号	334	324	333	328
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	339	335	338	334
新切黄銅セバ	◎841	◎852	錫1号	4350	4300	4350	4300
コーベル	◎805	◎808	アンチモン	2100	2050	2100	2050
黄銅棒地	◎783	◎796	ニッケル(メッキ用)	2500	2450	2500	2450
黄銅削粉	◎777	◎790	コバルト	5200	4900	5200	4900
並黄銅	◎785	◎740	セレニウム	3800	3600	3800	3600
黄銅ラジエター	◎640	◎632	ビスマス	1500	1400	1500	1400
交叉ラジエター	◎738	◎696	カドミウム	750	700	750	700
黄銅鑄物	◎790	—	マグネシウム合金	480	460	480	460
山送り(55%)	430	—	アルミ地金99.70%	◆370	◆366	◆372	◆368
上青銅鑄物	◎916	—	アルミ二次地金99%	328	323	328	323
並青銅鑄物	◎914	◎903	〃 90%	303	298	303	298
上青銅鑄物削粉	◎909	—	アルミ二次合金ADC12	421	416	424	419
並青銅鑄物削粉	◎899	◎887	鑄物用C2BS	446	441	448	443
新切リン青銅(仲間)	—	◎1149	青銅合金地金3種	◎1600	◎1590	◎1720	◎1710
〃 (鑄物)	◎1032	—	〃 6種	◎1345	◎1335	◎1410	◎1400
リン青銅削粉	◎950	◎943	ハンダ錫60%	◎3300	◎3260	◎3320	◎3290
新切洋白(電子材)	◎962	◎950	〃 50%	◎2865	◎2815	◎2885	◎2855
新切亜鉛	255	255	〃 40%	◎2495	◎2435	◎2450	◎2420
ダイカストくず	165	165	減摩合金2種	◎4695	◎4665	◎4700	◎4670
亜鉛ドロス	145	155	〃 4種	◎4040	◎4015	◎4045	◎4015
上鉛	200	198	〃 7種	◎1440	◎1390	◎1440	◎1390
電池素鉛ケース込	80	80	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		60	65
活字鉛	179	176		〃 グライ粉		45	50
新切アルミ1級	235	242		高耐食ステンレスSUS316		205	205
新切サッシ1級	237	240		耐熱ステンレスSUS310		265	265
新切合金1級	227	225		13クローム 新切		30	31
機械鑄物1級	200	216		ハイス 9種		180	180
ビス付サッシP	210	212					
合金削粉P	157	161					
込ガラP	128	132					
カン・バラ	155	148					


 非鉄金属材料相場面
 PW:nikkin202402